

第9節

国民参加協力推進事業の概要

1. 事業の開始時期・経緯・目的

● 開始時期

2002年度に、草の根技術協力事業を創設するとともに、従来の国民参加型協力関連事業を整理統合した。

● 経緯・目的

国民参加型の協力を促進する上で、国際協力への理解と参加を促し、地域の持つ経験やノウハウを活かした国際協力を拡充するべく、市民参加協力支援事業として、国民に対する様々な情報提供と啓発活動を実施している。

2. 事業の仕組み

● 概要

(1) 開発教育支援

子どもから大人まで、市民一人ひとりが開発・環境・平和などの地球規模の問題に関心を持ち、また考える機会を提供するため、開発教育支援事業を実施している。また、これまで国際協力の経験がなかった団体・個人に対して、国際協力への参加を支援するとともに、国際協力に参加しやすい環境を整備することに主眼を置き、国際協力経験者による体験談を含むセミナー・ワークショップなどを通じた情報提供や啓発を行っている。

(2) 連携・研修

開発途上国側の多様化するニーズに対応し、草の根レベルに届く協力を実施するためにも、NGO、自治体、大学等と、相互の人材や知見を活かした事業の促進、連携を深めるための取組を行っている。また、組織の運営や活動の充実強化のために、研修などの機会を提供し、活動の支援を行っている。

(3) 国際協力推進員

自治体が実施する国際協力事業の活動拠点に配置され、広報および啓発活動の推進、自治体の国際協力事業との連携促進、JICA事業への支援を行い、国際協力に関心を持つ地域の自治体、NGO、市民などからの様々な相談に応じている。推進員の活動により、地域での経験やノウハウを活かして国際協力への一歩を踏み出す自治体やNGOも出ている。

3. 最近の活動内容

2014年度実績は次のとおり。

(1) 開発教育支援・市民参加

国際協力出前講座（JICA）：2,102件／20万3,154名
中学生・高校生エッセイコンテスト：応募総数6万6,462点

グローバル教育コンクール：334点（写真部門244点、グローバル教育取組部門90点）

教師海外研修：20コース／166名

開発教育指導者研修：185件／10,149名

JICA施設訪問：1,461件

国際協力（ODA）実体験プログラム：44件／1,314名

市民向けイベントセミナー：1,406件/778,122名

グローバルフェスタJAPAN：来場者数77,546人

(2) 連携・研修

<対話>

・NGO-JICA協議会：4回

<NGO活動支援>

・NGO-JICAジャパンデスク設置に拠る現地での情報提供、連携強化：20か国

・NGO組織強化のための国内アドバイザー派遣：2014年度10件

・NGO活動強化のための海外アドバイザー派遣：2014年度3件

<NGO向け研修>

・国際協力担当者のためのPCMを活用したプロジェクト運営基礎セミナー：2014年度開催数全29回、受講者総数：416名

・地域NGO提案型研修（現・地域提案型NGO組織力アップ！研修）：2014年度全4件実施、受講者総数62名

・組織力アップ！NGO人材育成研修：2014年度は実施見合わせ（“地域提案型NGO組織力アップ！研修”との統合に伴い2015年度より廃止となった。）